

— 職員の声 —

～ 新潟地方法務局 ～

局長



法務局では、不動産登記や会社などの法人に関する登記を始め、戸籍・国籍や供託などの民事行政に関する事務、国の代理人として訴訟活動を行う訟務に関する事務、人権が侵害された場合に調査救済などを行う人権擁護に関する事務などの多岐にわたる事務を取り扱っています。

これらの事務は、いずれも国民の皆様の生活に密接に関わっており、法務局は、その業務を通じて、国民の皆様の権利を守り、生活を安定させるという大きな役割を担っています。

これらの事務に加えて、最近では、所有者不明土地問題の対応を始めとする相続登記の促進や遺言書保管制度の導入など、新しい課題にも積極的に取り組んでいます。また、当局は、30才未満の職員の数もかなり多く、明るく、若々しい職場でもあります。

令和の時代を迎え、このような希望と活気に満ちあふれた職場で、私たちと一緒に、新しい時代を切り拓いてみませんか。お待ちしております。

不動産首席登記官



不動産登記は、国民の重要な財産である不動産(土地、建物)の所在、面積、所有者の住所・氏名などをコンピュータ化された登記簿に記録して一般に公開することにより、誰もが不動産の物理的状況と権利関係を知ることができるようにするもので、取引の安全と円滑を図る社会経済の重要なインフラの一翼を担うものとなっています。

加えて、大規模な災害への備え、社会資本の整備などに向けた事業も始まっており、不動産登記制度に対する期待は更に高まっています。

法務局は、日々大量に提出される登記申請を、スピード感を持ちつつも法令に基づいて適正に審査するとともに、新たな事業に積極的に取り組んで、不動産登記制度に対する社会の期待に応えてきています。

国民の皆様から信頼される活気ある職場で、多くの職員があなたを待っています。社会の期待に応える充実感を一緒に実感しましょう！

— 職員の声 —

～ 新潟地方法務局 ～

総括上席訟務官



国の行政機関が訴訟を提起したり、訴訟を提起された場合、東京法務局に在籍する部付検事の指揮を受けながら、私たち訟務部門の訟務官が、各行政機関の担当者と一緒に裁判所に出廷して訴訟活動を行っています。

特に新潟地方法務局では、社会的な耳目を集める大型重要訴訟を多数取り扱っていることから、法務省及び東京法務局と共同して対応する機会が多く、司法の場において適正な事実認定と正しい法の解釈適用が実現されるよう、日々研さんを積んでいます。

もちろん、新潟地方法務局の訟務官だけで法廷に出廷し、裁判官に意見を述べることもあります。難しそう？ いいえ、研修制度がしっかりしているので、訟務官は自信を持って対応していますよ。また、新潟地方裁判所のほか、県内各裁判所支部にも出廷するので、訟務官は、全員フットワークが良く、忙しくて和気あいあいとした雰囲気の中で仕事に取り組んでいます。

そのほか、行政機関向け「予防司法支援制度」の利用の拡大にも力を入れており、国の業務に携わっている各種行政機関から、法律の解釈に関する様々な相談を受けています。

皆さんも訟務事務にチャレンジし、リーガルマインドを身に付けてみませんか。お待ちしております！

支局長



新潟地方法務局には11の支局があり、それぞれ管轄地区内の登記、戸籍・国籍、供託、訟務、人権擁護等の事務を取り扱っています。支局の登記部門では不動産登記及び会社法人等の印鑑や電子認証に関する事務を登記官が中心となって、受付から校合（登記の実行）まで、職員が連携して処理を行っています。

また、総務課においては、登記以外の戸籍・国籍、供託、人権擁護等の事務のほか、庶務、会計の事務を取り扱っています。総務課職員はいくつかの事務を兼務しながら、担当を決め、責任を持って処理しています。

支局は職員数は多くはありませんが、ミニ法務局として、職員全員で協力して多岐にわたる事務を適正、迅速に処理しています。

このように、支局では、いろいろな業務を経験することができますし、お客様等と直接接する機会が多いので、勉強になり、やりがいのある職場だと感じています。

若い職員も増えていますので、一緒に働きませんか。

— 職員の声 —

～ 新潟地方法務局 ～

法人統括登記官



商業・法人登記制度とは、資本主義経済の主役である会社等の成立の根拠である制度であり、取引の安全と迅速に寄与するための制度です。

会社や各種法人は、会社法その他の法律の規定により、会社を設立する場合や役員が交代した場合など、一定の重要な事項について登記することとされています。

法人登記部門では、会社等からオンラインや書面で申請された登記申請書を受け付け、会社法等の根拠法令や商業登記法等の手法に従って適正・迅速に審査し、最終的に登記官が受理を決定しますが、登記が実行されますと、コンピュータ化された商業登記簿という帳簿に記録され、その記録された情報は広く一般に公開されます。

商業・法人登記制度は、経済活動に必要な不可欠なインフラとしての役割を果たしています。国民の皆様から信頼され、やりがいのある職場で、是非あなたの実力を発揮してください。お待ちしております。

会計課主計係長



法務局は国民の皆様の権利を守り、生活を安定させるため様々な業務を取り扱っていますが、これらの業務を円滑に行うためには、経済的な裏付けが欠かせません。

会計課は、法務局が各種業務を円滑に実施できるよう、財政面からバックアップを行っている部署といえます。

さて、法務局の業務は、登記、戸籍・国籍、供託、訟務や人権擁護事務など多岐にわたっていますが、どれも国民生活に密接に関わる重要な業務です。

この中に、あなたがやりがいを感じる仕事があるはずですよ。

また、法務局は、若い職員が多いほか、困った時は気軽に上司、先輩、同僚に尋ねることができる明るい雰囲気職場です。

国民の皆様から信頼される職場で、働いてみませんか。是非、一緒に頑張りましょう。

— 職員の声 —

～ 新潟地方法務局 ～

総務課庶務係長



総務課では、職員の人事や給与、各種会議や監査などの計画・運営といった業務を行っています。

どちらかというと、余り目立たない裏方的な業務を担当している部署ではありますが、総務課で行っている業務は、いずれも組織にとってなくてはならない、言わば法務局の土台ともいえるものです。ロックバンドでいえば、ベーシストのような存在ではないでしょうか。

法務局の業務は、いずれも専門性の高いものであるため、「何だか難しそう」、「法律なんて勉強したことがない」と不安に思う方もいるかもしれませんが、充実した研修制度が皆さんをバックアップするので、何も心配はいりません。何より、法務局は明るくてやる気のある若者を求めています！

私たちと一緒に明るく楽しい職場を作っていきましょう！

不動産登記部門係員



私は、不動産に関する登記申請の窓口対応、申請内容の調査及び登記記録への記入業務を行っています。

登記事務は、国民の皆様の財産上の権利を保全するために、常にスピード感を持ちながら法令に基づいて行う必要があります。私も採用になる前は、全く分からない状態で、不安でいっぱいでした。しかし、周りの先輩方が一から教えてくださるので、安心して仕事に取り組んでいます。また、いろいろなレクリエーションの企画などもあり、一体感のあるコミュニケーションの取りやすい職場でもあります。

法務局は様々な業務のある魅力的な職場です。それぞれ内容は異なりますが、法律に基づいて、国民の権利を守る仕事だということは共通しています。

そのため、向上心を持ちつづけて、常に勉強をしながら信頼される職員になることを目指したいと思います。

法人登記部門係員



私は、現在、主に法人登記申請の内容の審査及び申請内容を登記簿に記録する業務を行っています。

登記業務は、その根拠となる法令に従って行うため、日々勉強が欠かせません。しかし、その分、できることや法令の知識が増えたりすると、とてもやりがいを感じます。また、分からないことや初めて行う業務については、職場の先輩方から丁寧に教えてもらえるため、円滑に仕事を進めることができます。

加えて、休暇制度が充実しており、年次休暇も時間ごとに取得できるので、通院など、自分のライフスタイルに合わせて働くことができ、働きやすい職場であると思います。

まだ慣れないことも多いですが、自己研さんを重ねて知識を吸収しつつ、目の前の業務に丁寧に取り組んでいきたいと考えています。そして、この先、法人登記以外にも様々な業務を経験していくと思いますが、どんな仕事でも一生懸命取り組み、信頼される職員を目指していきます。

— 職員の声 —

～ 新潟地方法務局 ～

戸籍課係員



私が所属する戸籍課では、戸籍・国籍及び成年後見に関する事務を行っています。いずれも日常生活ではあまり関わりがないかもしれませんが、社会の基盤となる重要な制度です。

具体的には、市区町村からの戸籍に関する照会について調べ、回答したり、日本国籍を取得しようとする外国籍の方の相談を受け、申請書類を審査することなどが当課の主な仕事です。また、窓口では成年後見の登記事項証明書の発行も取り扱っています。

法令に基づき、根拠条文を確認しながら業務を行うことは難しく、分からないことも多いですが、先輩方がその都度教えてくださり、日々勉強しながら仕事をしています。

法務局では課によって業務内容が全く異なりますが、その分多くの経験をする事ができ、やりがいがあります。今後も様々な業務に取り組み、知識を深め、法務局職員として成長していきたいと思えます。

供託課係員



私は供託課で、お客様から提出された申請について適正な申請であるかを審査する仕事をしています。

供託申請の一例としては、家主が家賃を受け取らないときなどに、法律上支払ったことと同じ効果を得るために行う地代・家賃の弁済供託や、給与の差押えがあった場合に行う執行供託等があります。

供託に関する根拠法令は数多くあり、また、供託申請についても多くの種類があるため、幅広い知識を必要とします。

業務を行う上で疑問に思うことがあるときは、上司や先輩方から根拠を示しながら丁寧に教えてもらえます。

また、明るく風通しの良い職場であり、気兼ねなく質問することができるので、働きやすい職場であると感じています。

法務局の業務は多岐にわたるため、担当する業務によっては、それまで行ってきた業務との違いで戸惑うこともあるかもしれませんが、どの業務もやりがいのあるものばかりですので、前向きに業務に取り組んでいきたいと思えます。

人権擁護課係員



私は現在、主に地元のプロスポーツチーム等と連携した人権啓発活動、電話等による人権相談業務、人権関係予算の執行及び管理を行っています。

法務局の仕事は、様々な法令・通達が関係していて、常に根拠を確認しながら処理するのは大変ですが、その分とても法律の勉強になります。人権擁護課の仕事は、職員だけでなく、人権擁護委員や人権相談を利用される方など、様々な人と関わる機会があり、人と向き合う力が求められると日々感じています。

今後は、仕事を通じて知識と経験を積むことで、法務局の職員としても、一人の人間としても成長できるよう努めたいです。

— 職員の声 —

～ 新潟地方法務局 ～

支局係員



私は現在、支局の総務係員として、主に庶務・会計事務及び供託事務を担当しています。

支局では、ほかにも登記事務を始め、戸籍事務や人権事務なども取り扱っており、毎日新しい知識を身に付けられるところに魅力を感じています。職場の先輩方は優しく、法律に関する知識も豊富であるため、私も先輩方のようになりたいと常に刺激を与えられながら業務に取り組んでいます。

また、ワークライフバランス面も充実しているため、休暇を取得しやすい職場です。

今後は、目の前の業務を適正迅速に行うとともに、周りに気を配ることができる職員を目指します。

支局係員



私は現在、不動産登記申請の受付業務と申請内容の審査及び登記簿に記録する事務を担当しています。

登記の仕事は、法律を基本とするため、その根拠の理解が重要ですが、もし調べて分からないことがあっても、職場の先輩方が丁寧に優しく教えてくれます。気兼ねなく質問できる働きやすい職場だと感じています。

また、レクリエーションなどの行事も充実しており、ほかの課、支局等の方々とも接する機会が多く、公私ともに楽しく日々過ごしています。

法務局の業務は、国民の生活に密接に関わり、やりがいを感じることでできる仕事だと思います。様々な業務を経験する中で、多くの知識を習得し、信頼される職員を目指して努力していきます。

支局係員



私は現在、支局の登記部門で受付業務と申請内容の審査を担当しています。

法務局の業務の中で法律の知識が必要になることがありますが、初めから知っている必要はなく、研修制度が充実しているので採用されてから職場で学ぶことができます。

また、休暇を取りやすい職場で、さらに、行事も多く職員との交流が盛んで、ワークライフバランスも充実しています。

不動産登記の業務は国民の権利を守ることで、国民と密接した関係にあります。ミスの手許されない重要な業務ではありますが、その分やりがいを大きく感じることができます。このような職場で一緒に働きませんか。